

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第24号 平成25年8月18日

打線は貧打継続 投手は好調

不慣れな守備がボーンヘッドを呼び!

	1	2	3	4	5	6	7	R
M	0	2	0	1	0	1	0	4
G	0	0	0	2	0	0	1	3



8/18(日)当初、Victoria予選リーグを当該日に交渉していたが、その交渉が成立しなかったため、急遽オプショナル戦に切り替え、長坂谷公園野球場で、増子ハイカールとゲームを行った。今日は、夏の暑さに加え、強風が吹き荒れる中、プレイボールとなった。今日の先発を託されたのは達脇。ゲーム前、課題の球数の多さと四球について、確認を行い、今日のゲームに望んだ。目標投球回数は4回、そのインングをどう投球するか非常に楽しみである。その初球の入りは、変化球でのストライク、結果初回は、非常に安定した内容で8球で三者凡退に斬った。しかし、翌2回にゲームは動く。強風とポジション取りの関係から、レフト前に打球を運ばれ、これが安打になる。この打球処理の間に、バッターランナーは、一挙二塁まで到達し、場面はピンチと化した。続く打者の打球は、レフト線への飛球、これをレフトが反応し、打球位置に入り捕球出来たか、と思った瞬間、クラブからボールが零れ落ち、無死二・三塁とピンチは拡大していった。そして次打者の二球目にスクイズを決められ1点失点。更に、後続に遊ゴロを打たれ、このゴロゴローにより、この回2点目を失点した。しかし、ビデオ及び周囲のメンバーは、ホームに投げればアウトになった、と思ったが、当人は、「投げたてアウトに出来なかった」と、まー、周囲と本人には、開きがあるものですから、オプショナル戦なので、投げてでも良かったのでは、と感じます。その後は空三振に斬りこの回を終えたが、打線は、未だ四球による出塁のみ、三回は、達脇が立ち直り、9球で三者を斬り、予定の4回のマウンドに上がる。この回先頭を見逃三振に斬ったが、次打者には、今日初めての四球で出塁を許す、その後、後続の時に二盗を決められ、スコアリングポジションに走者を背負う。続く打者の5球目を打たれ、その打球は、バウンド高めのショートへの打球、これをショートが捕球出来ず、カバーリングの間に一挙二塁より走者が生還し、3点目の失点となり、達脇はこの回でマウンドを降りた。しかし、結果は、3点の失点をしながら、自責は1、更に今日良かった内容は、球数と与四球である。規定の4回で49球は、恐らく彼の中では最少(多分)ましてや、四球1は非常に安心感の有るマウンド載きである。が、3点目は、四球らの得点なので、これに安打が絡むと失点に繋がる、と身を以て体験したので、次回は益々の慎重さを期待する。そして、その裏の攻撃で我がチームにも火が付いた。この回先頭三振で一死となったが、三番光希が、3球目をかます右中間に運ぶ3塁打で得点シーンへ。このチャンスに4番昌平がこれまた3球目をきっちり右中間に運ぶ2ベースで1点。この打球の内外連携の時に、打者走者は三塁へ進塁。2点目の期待が掛かるこのチャンスに、5番浅沼が打席に入る。これまた2ボールからの3球目をセンターに犠飛を放ち、2点目を返し、その差は1点とした。5回からマウンドは光希が上がり、無難に三者凡退に斬るが、打線も沈黙する。そして、6回にまたもやゲームが動いた。先頭を空三振に斬り一死としたが、次打者を四球により出塁を許す。この走者に二盗・三盗を決められ、一死三塁と失点シーンに変わる。そして、後続の3球目の時に、三塁走者がサイン誤りと思われる走塁でホームを目指す。が、このプレーに我がチームの守備陣は越えだす事無く、RPに入ったが、不慣れなポジション同志故、あっさりホームスチール気味に得点を許し、結果この得点が決勝点となってしまった。最終回にも四球で出塁した昌平が二盗と内野ゴロで三塁まで進み、WPで1点を返したが、後は後1本が出ず、今日の敗戦となってしまった。投手陣は失点をしたものの、内容は今後に期待出来る非常に良い内容であったが、打線は、クリーンアップ以外は、全く機能しなかったのが、今日の敗戦の要因であろう。また、普段から声を出す習慣を維持していないと、いざ、という時に、出ないという事もチームとして、体験出来たはずだ。ましてや、声は「声が出てないよ!」と指摘を受け、出すものではないと思う。自身も気力を高め、メンバーの士気を上げるために出す、という事を今後も継続して実践しよう。まだまだ暑い日は続くが、その暑さをも上回るすかっとしたゲームをしたいですね・・・